

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

|         |                      |            |            |
|---------|----------------------|------------|------------|
| 事業所番号   | 2192800072           |            |            |
| 法人名     | 医療法人 悠山会             |            |            |
| 事業所名    | ファミリア小坂(小規模多機能型居宅介護) |            |            |
| 所在地     | 岐阜県下呂市小坂町坂下716番地1    |            |            |
| 自己評価作成日 | 平成28年2月15日           | 評価結果市町村受理日 | 平成28年3月25日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

|          |   |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | <a href="http://www.kaijokensaku.jp/21/index.php?action=kouhyou_detail_2015_021_kani=trus&amp;ligyosvoCd=2192800072-00&amp;PrefCd=21&amp;VersionCd=021">http://www.kaijokensaku.jp/21/index.php?action=kouhyou_detail_2015_021_kani=trus&amp;ligyosvoCd=2192800072-00&amp;PrefCd=21&amp;VersionCd=021</a> |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                                  |  |  |
|-------|----------------------------------|--|--|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 ぎふ福祉サービス利用者センター ぴーすけっと |  |  |
| 所在地   | 岐阜県各務原市三井北町3丁目7番地 尾関ビル           |  |  |
| 訪問調査日 | 平成28年2月29日                       |  |  |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

法人の理念に基づき、地域に根ざす優しさ、安らぎ、信頼をモットーに職員一人一人が意識を持って介護サービスに努めています。掃除のお手伝いや、おやつ作り等と一緒に利用者様の残された力が、発揮できるよう支援していきます。また、住み慣れた地域の恵まれた社会資源と自然環境の中で、四季折々の行事を行い生き生きとした馴染みある生活が送れるよう努力します。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

職員は、地元採用の人が多く、利用者や地域住民とは、顔なじみである。併設と合同で行う行事では、地域住民との交流の場になっている。住民からは、柿や蔦、松ぼっくりの差し入れがあり、干し柿づくりやクリスマスのリース作品に活用をしている。日常の生活は、起床時間や、消灯時間の決まりを設けず、朝早くから畑を眺めながら散歩をしている。また、気の合う同士との会話を楽しむ時間も多く、表情は穏やかで明るい。利用者が重度化になっても、医療と介護の連携を強め、最期まで充実した生活が送れるように支援をしている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 |  | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印 |   | 項目 |  | 取り組みの成果<br>↓該当する項目に○印 |   |
|----|--|-----------------------|---|----|--|-----------------------|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)     | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています<br>(参考項目:9,10,19) | ○                     | 1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)           | ○                     | 1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                  | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                    | ○                     | 1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない                  |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                 | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4)  | ○                     | 1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くない            |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)  | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 66 | 職員は、生き活きと働けている<br>(参考項目:11,12)                                     | ○                     | 1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない       |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                      | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている<br>(参考項目:30,31)      | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                  | ○                     | 1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている<br>(参考項目:28) | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |    |  |                       |   |

自己評価および外部評価票

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己                 | 外部  | 項目  | 自己評価   | 外部評価   |  |
|--------------------|-----|---|--|--|--|
|                    |     |   | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容  |
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |     |   |  |  |  |
| 1                  | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている  | 「地域に根差す、優しさ、安らぎ、信頼」という法人の理念を職員会議やミーティング等で常に確認し実践できるようにしている   | 理念は、明解で分かりやすい文言である。職員の名札に明記し、毎日立ち回り、周知をしている。利用者が地域の人たちと、馴染みの関係を築きながら、不安のない暮らしを支援している。        |  |
| 2                  | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している  | 「おたっしや倶楽部」という広報誌を地元地区に回覧している。当施設の事業・運営・活動などを把握紹介してもらうために区長・民生委員・福祉委員のかたを介し広報活動に取り組んでいる。またボランティアのかたに来ていただき利用者との交流を深めている | 事業所は、広報の回覧を通し、地域とつながっている。地元の文化祭に貼り絵や工芸品を展示し、住職の講話、演芸ボランティアでは、地域の人を招いている。住民からは、収穫物の差し入れがある。   |  |
| 3                  |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている  | 運営推進会議の構成委員を通じて地域での問題・困り事などの相談を受け専門職としてアドバイスしている   |  |  |
| 4                  | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている                                     | 運営推進会議の中で提案頂いた件について実行できるものから実施している。広報誌などを通じ地元の方に行事など参加して頂くことで理解して頂いている   | 会議では、利用者の生活状況やイベント予定を報告し、意見を交わしている。健全な事業運営や虐待の事例と対応を話し合っている。意見や要望等は、運営やサービスの質の向上に反映させている。    | 会議には、家族、利用者を始め、幅広く参加を呼び掛け、多くの意見が出る会議となり、さらに地域に開かれた事業所の運営に期待をしたい。 |
| 5                  | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる  | 行政担当者と常に連絡を取り合い、法改正や困難事例等を相談し助言して頂いている   | 市の担当者とは、直接出向いて、情報の収集や困難事例を相談し、連携ができています。運営推進会議の中で、住所地特例の制度や介護マークの普及で説明を受け、協力関係を築いている。        |  |
| 6                  | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束・虐待の防止を徹底し、職員間で共有している。職員会議・ミーティング等で常に身体拘束しないという観念を持つよう管理者を中心に検討している  | 法人の、風紀委員会があり、言葉による拘束や身体拘束をしないように周知・徹底をしている。慣れ合いからくる弊害にも認識を深め、不安感を与えないように心がけ、拘束をしないケアを実践している。 |  |
| 7                  |     | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている                                     | 職員会議の研修で身体拘束とは何かということを理解しミーティング等でつねに話し合っている。トリートメント委員会の中に風紀委員会を常設し、言葉での拘束など無いよう心掛けている                                  |  |  |

岐阜県 ファミリア小坂(小規模多機能型居宅介護)

| 自己 | 外部  | 項目   | 自己評価   | 外部評価   |  |
|----|-----|--|--|--|--|
|    |     |  | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容                                  |
| 8  |     | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している    | 成年後見人制度をご利用のかたが入居されているので、理解はできているが、熟知し活用できるよう勉強会を開催している            |  |  |
| 9  |     | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                         | 契約時には施設の方針内容について説明し、理解・納得して頂いたうえ契約を交わしている                          |  |  |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                     | 利用者・家族の方が意見や思いを伝えやすいよう居室担当制を取り日頃からコミュニケーションを取り信頼関係の構築に努めている        | 家族の訪問時に、利用者の様子を伝え、要望や意見を聴いている。利用者からは、担当者が聴き取り、面会が少ない家族からは、電話や手紙でコミュニケーションを図っている。               | 家族が意見箱を、気楽に活用できる工夫や、職員の顔と名前を覚えてもらえるような取り組みに期待をしたい。 |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | 職員会議やミーティング等で常に職員の意見や問題を聞き解決策などを話し合っている                            | 管理者は、職員会議や業務の中で、意見や提案を聴いている。「職員を増やしてほしい」「記録が多すぎる」等の意見があり、順次改善をしている。柔軟な勤務調整で、安心して働ける体制に反映させている。 |  |
| 12 |     | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | 勤務状況・勤務態度を把握し評価している。職員個々の状況なども把握しシフトなど働きやすく研修などにも参加しやすいよう調整している    |  |  |
| 13 |     | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 毎月勉強会を開催し職員のスキルアップを目指し、職員自身が講師を務めることにより深い理解ができるようにしている             |  |  |
| 14 |     | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 市内同法人3事業所の管理者・主任で定期的に報告会及び勉強会を実施している。近隣の病院・老健施設へ訪問しサービスの質の向上に努めている |  |  |

| 自己                         | 外部  | 項目   | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|----------------------------|-----|--|--|---|-------------------|
|                            |     |  | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |     |  |  |   |                   |
| 15                         |     | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 利用される前には、ご本人・家族に面会し要望不安な事、ご本人の状態など状況収集し、不安を取り除けるよう努めている  |   |                   |
| 16                         |     | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | 家族より状況を伺い要望・意見・不安な事などを聞く機会を設けている。施設見学なども実施している。ケアマネからサービス及び制度を説明し不安要素を少しでも取り除けるようにしている             |   |                   |
| 17                         |     | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている        | 利用開始の前に本人・家族から話を伺い、生活上の困難な事不安な事を確認し、必要とされている   |   |                   |
| 18                         |     | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                        | 居室担当制を設けており担当者が本人の希望・不安などを聞きとめともに解決できる関係を築いている。その人らしさを引き出せる支援をしている                                 |   |                   |
| 19                         |     | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている         | 居室担当者が家族と本人の間の連絡や情報交換の窓口となり、関係がスムーズに流れるよう中立擁護の立場で絆を保ち、安穏な生活が出来るよう支援している                            |   |                   |
| 20                         | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                     | 本人の意志を尊重し希望される所への外出を支援している。利用者同士が触れ合えるよう行事やレクなどかわり持ち、交流できるよう支援している                                 | 職員は、地元出身者が多く、利用者とは、顔なじみである。法人運営の病院帰りに、身内や知人が立ち寄っている。地元の敬老会や老人会に参加したり、近くのコンビニへ出かけ、馴染みの関係を支援している。 |                   |
| 21                         |     | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                 | 利用者同士の関係を把握し、職員が間に入るにより良好な関係が保てるよう配慮しているが、知己の昔からの関係もあり難しいところもある。利用者同士が触れ合える場、会話できる場を設け交流できるようにしている |   |                   |

| 自己                                 | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|------------------------------------|------|--|--|--|-------------------|
|                                    |      |  | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | 入院などによりサービスが終了した場合でも医療機関や家族と連絡を取り経過を聞くようにしている。ほかの施設へ入居される場合もご家族の同意の上情報提供しご本人の介護に役立つようにしている |  |                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |  |  |                   |
| 23                                 | (9)  | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | ご本人の意向に沿えるようカンファレンスを行い検討・対応している  | 契約時のアセスメントで、生活歴や人格などを把握し、日々の関わりの中でも把握に努めている。なかなか言い出せない人には、声かけの反応や表情から思いを察し、その人らしい暮らし方に反映させている。 |                   |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | ご本人の生活歴などバックヤードの情報を把握し今までとかが割らぬ生活が出来るよう努めている   |  |                   |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている   | 初めて利用される方などは経過記録に一日の生活のリズム・様子などを記録しその人の状態を把握し情報を共有している                                     |  |                   |
| 26                                 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 本人の状態を把握し本人・家族の意向を確認し、職員の気づき、意見など関係者の意見を踏まえ介護計画を作成している。身体機能維持など達成の有無をモニタリングなどにより確認している     | 介護計画では、サービス担当者会議で検討を加え、欠席の家族には、事前に意向を確認している。定期的にモニタリングを行い、利用者の身体機能を維持し、自分らしい生活が送れるように、作成をしている。 |                   |
| 27                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 業務日誌に申し送り・特記事項などを記入し情報を共有することにより利用者の実情に合った計画の作成をしている                                       |  |                   |
| 28                                 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | 通いサービスと訪問サービスがあるがその人の状態にあったサービスを提供している   |  |                   |

岐阜県 ファミリア小坂(小規模多機能型居宅介護)

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|----|------|--|--|--|-------------------|
|    |      |  | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                     | 地元の理髪店による整髪を月2回、移動パン屋の販売を月1回開店している   |  |                   |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                | 当施設の医院長による往診を月2回行っている。又体調の変化により常時連絡をとり、状況にあった対応が提供できるよう努めている                         | かかりつけ医は、希望により選択をしている。協力医の往診体制があり、通院の仕方や医療情報で共有をしている。急変時は、看護師が、主治医や医療機関と連携を取り、適切な医療を提供している。   |                   |
| 31 |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                         | バイタル測定を毎日行い体調の変化と、職員の気づいたことを、看護師に報告し適切な看護が受けられるように支援している                             |  |                   |
| 32 |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている | 医療機関と早期から連絡を取り合いサマリや電話連絡により相談・情報交換を行っている。情報を職員で共有し、早めの準備を心がけている                      |  |                   |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 利用者の状況に応じて、本人・家族の思いを確認し、医療機関との相談事項や施設で出来ることなどを説明し理解して頂き、ご本人・家族に取り最適な方法を選択できるよう支援している | 重度化や終末期の指針は、本人・家族に説明し、同意を得ている。段階毎に、家族、医師、事業所で話し合い、方針を共有している。看取りの事例はないが、可能な条件の下で、支援ができる体制である。 |                   |
| 34 |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている   | 救急時の対応マニュアルを作成し、適切な対応が出来るよう、勉強会を行い、実践できるようにしている                                      |  |                   |
| 35 | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている   | 消防署の立ち合いで年二回防災訓練・救命講習を実施している。マニュアルも常に職員が確認できるようにしている                                 | 地域の防災訓練に参加をしている。さらに、消防署の立ち合いで、避難、通報、救命訓練を実施し、住民の数名が避難訓練に参加をしている。マニュアルを整え、非常食は、3日分の備蓄がある。     |                   |

| 自己                               | 外部   | 項目  | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|----------------------------------|------|---|--|--|-------------------|
|                                  |      |   | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |   |  |  |                   |
| 36                               | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                    | 利用者の人格を尊重することの重要さや接遇の仕方について職員会議やミーティング等で常に話し合っている。                   | 個人の記録ファイルは、目に触れないように管理をしている。入浴時やおむつ替えでは、プライバシーの確保を徹底し、排泄誘導の声かけは、さりげなく羞恥心に配慮をしている。  |                   |
| 37                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                      | 居室担当制によりご本人の意見や思いが職員に伝えやすい関係を築けるようにしている                              |  |                   |
| 38                               |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 一人一人のペースに合った生活が出来るよう、個々に過ごされる時間、他の方と過ごされる時間を大切に職員の決まりを優先することなく支援している |  |                   |
| 39                               |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                   | 月2回理容室・美容室に来ていただき希望に合ったカットなどして頂いている。又行きつけの床屋などに行かれる方には送迎も行っている。      |  |                   |
| 40                               | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている      | 施設の畑で季節の野菜などを収穫し、利用者の方と一緒に調理している。食事の方付など率先して利用者の方が行われています            | 利用者は、食事の準備や片付け、味付けなど手伝っている。季節の野菜を食材に加え、職員は、介助と見守りをしながら、話題を提供し、楽しい食事時間となるよう支援をしている。 |                   |
| 41                               |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている           | 食事の材料は外部の業者を通じて、栄養バランスのとれた食事を提供している。食事制限・食事形態のある方は看護師と相談しその都度検討している。 |  |                   |
| 42                               |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                    | 歯科衛生士により毎週口腔内の状態をチェックしている。毎食後の口腔洗浄は自己にてして頂き、職員が磨き残しがいないか確認している       |  |                   |

岐阜県 ファミリア小坂(小規模多機能型居宅介護)

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|----|------|---|--|---|-------------------|
|    |      |   | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている                              | オムツやなどを使用している方は排泄チェック表を記入し排泄パターンを把握しトイレ誘導や介助を実施している                  | 夜間は、状態に応じて、ポータブルトイレや、し瓶を使用している。昼間は、ほとんどの人が、排泄リズムに沿って、適時なトイレ誘導で、排泄が自立している。その結果、おむつ用品の使用量を節減している。 |                   |
| 44 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる  | 排泄チェック表から排便の有無を確認し水分摂取を促したり、体操に参加して頂いている。                            |   |                   |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている                        | 入浴回数はご本人の希望に応じている。個室・大浴場はほぼ希望の時間にゆったりと入浴されている。                       | 自立の利用者は、毎日でも入浴できる体制である。身体状況や希望に応じ、個室や特殊浴、大浴場を使い分けている。入浴時間は、制限せず、ゆったりと楽しめるように支援をしている。            |                   |
| 46 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している   | 安眠できるよう日中の活動を促したり、環境に配慮している。又ご本人の生活習慣や体調に合わせて休息して頂いている               |   |                   |
| 47 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている  | 内服薬の準備は看護師が行い症状の変化に応じ医師と相談し調整している。内服薬の説明書を常にわかるようファイルし確認できるようにしている   |   |                   |
| 48 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                             | 季節に合った物作りや、掃除など個々が出来ると手伝いをして頂いている。レクリエーションや外出・散歩などで気分転換できるようにしている    |   |                   |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 御家族の方と頻りに外出される方もおられるが買い物支援として定期的に外出を支援している。天気の良い日は冬でも施設の周辺を散歩される方もいる | 家にいた時と同じように、朝早くから周辺を散策している。年間では、季節の花見や紅葉狩りに出かけ、美容院、買い物の送迎、家族と一緒にの外出など、戸外には、日常的に出かけている。          |                   |



岐阜県 ファミリア小坂(小規模多機能型居宅介護)

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|----|------|--|---|--|-------------------|
|    |      |  | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | 訪問販売の機会を作り、買い物を楽しんでいただいている。又近くのコンビニなどへ出かけられる方のために送迎などもしている                                |  |                   |
| 51 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | 携帯電話を持っておられる方も多くみられる。定期的にご家族が来られ希望等を聞いて行かれる。家族が遠方の方でも電話などで常に連絡されている。電話を取りついたり掛けたりの支援をしている |  |                   |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共用スペースには落ち着いた色のソファを配しフロアには季節の花を飾り居心地良く過ごして頂けるようにしている                                      | 共有の間は広くて明るい。大きな窓からの眺めに、季節感がある。雛飾りや共同作品を飾り、要所には、思い思いにくつろげる、ゆとりのソファを配置し、快適で、居心地よく過ごせるように工夫をしている。   |                   |
| 53 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | 各テーブル間を広く保ち、気の合った利用者同士で会話を楽しめるようにしている   |  |                   |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている  | 各居室ごとに家族・ご本人で居心地良く過ごせる様家具を配置されたり、飾り物を置かれたりしている。又暖簾をかけプライバシーのある空間を作っておられる                  | 居室には、ベッドと飾り棚を兼ねた家具を備え、室温は、自分で設定している。連泊の人が多く、テレビや家具類、湯たんぽなどを持ち込んでいる。手づくり作品や写真を飾り、居心地よい、居室を工夫している。 |                   |
| 55 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している   | 通路は車椅子でも移動しやすいよう幅を持たせている。風呂場・トイレなどご自分で行きやすいよう案内板を設置している。又福祉用具の適したものが使えるよう相談支援している         |  |                   |